

観光・まちづくりと一体となった 地方鉄道再生の取組

～北近畿タンゴ鉄道から京都丹後鉄道へ～



京都府
副知事

城 福 健 陽

CONTENTS

1. 北近畿タンゴ鉄道関係
2. 観光まちづくり「海の京都」事業
3. 「海の京都」と交通
4. ウィラートレインズによる鉄道事業の運営
5. インバウンドへの対応

1. 北近畿タンゴ鉄道関係

◇ 北近畿タンゴ鉄道(KTR)の概要

■ 営業路線

営業キロ 114.0km

<宮福線> 30.4km

福知山～宮津

<宮津線> 83.6km

西舞鶴～豊岡

駅数 32駅

<宮福線> 14駅

<宮津線> 19駅

* 宮津駅は重複

有人駅は15駅

(うち直営5駅)



■ 沿革

大正13年 旧国鉄峰山線(当時:西舞鶴・宮津間)営業開始

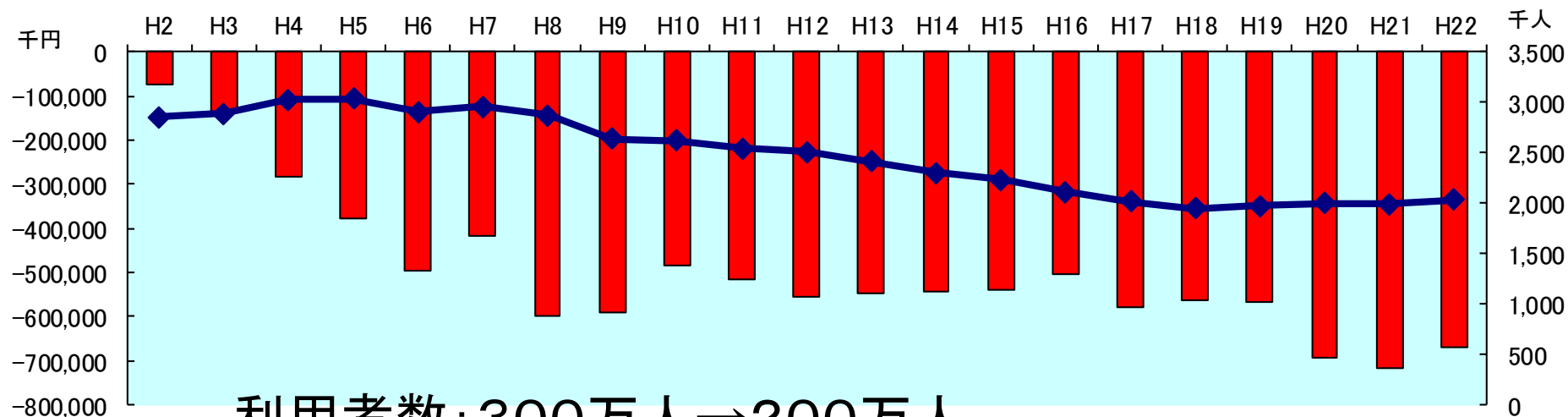
昭和57年 宮福鉄道(株)会社設立 (三セク)

昭和63年 宮福線(宮津・福知山間30.4km)開業

平成元年 北近畿タンゴ鉄道に商号変更 (三セク)

平成2年 旧国鉄宮津線(西舞鶴・豊岡間83.6km)を譲り受け開業

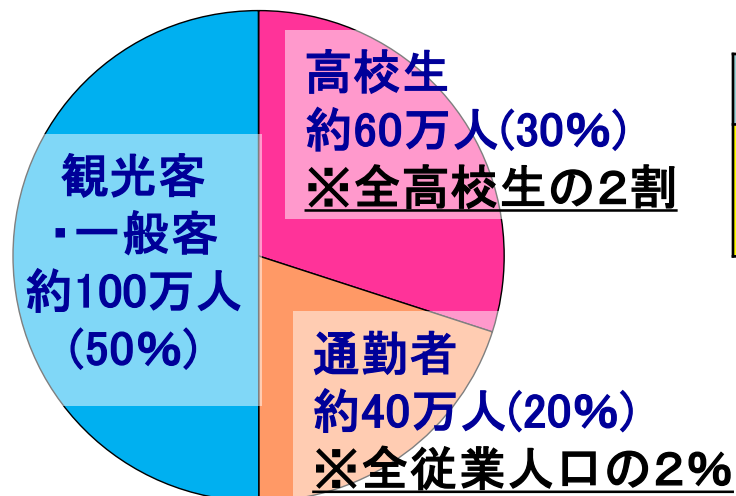
◇ KTR利用者数と経常損失の推移



利用者数: 300万人→200万人

経常損失: 年々増加。年間約7億円超

■ 利用者の内訳



■ 沿線従業人口の推移

(KTRの駅から600m圏)

	H13	H18	減少率
従業人口	54,099人	49,332人	91%

資料: 国勢調査、事業所・企業統計調査

駅周辺から減る従業人口

◇地域公共交通活性化・再生法(旧法)に基づく取組

分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議の取組

＜背景＞利用者が年々減少し、経常損失が拡大、府中北部をバス運行する旧京都交通(株)が会社更生法適用(H16.1)

年月	内容
平成17年11月	分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議の設置
平成18年9月	丹後地域公共交通ネットワーク改善実行計画(中間まとめ)策定・発表
平成19年10月	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律施行
平成19年11月	実現会議を法に基づく法定協議会に
平成20年1月	国土交通大臣に地域公共交通総合連携計画を提出
平成20年4月	近畿運輸局長から地域公共交通活性化・再生総合事業計画の認定
平成20年10月	北近畿タンゴ鉄道再生計画を策定
平成21年3月	高速道路休日1000円上限割引開始
平成21年7月	地域公共交通活性化・再生優良団体国土交通大臣表彰受賞
平成22年6月	高速道路無料化社会実験によりKTRの業績が悪化
平成23年4月	北部地域総合公共交通検討会を開始

◇丹後地域公共交通ネットワーク改善実行計画(法定計画)の概要

区分	改 善 内 容	
速やかに改善 平成19年度～21年度	ダイヤ	パターンダイヤの導入
		接続の取れたダイヤ設定(KTR)
		天橋立駅における下り特急列車からのバス接続(丹海バス)
	イ	平日、土休日で需要に合わせた別ダイヤ設定(平日の診察+α、休日の娯楽)<地元>
		観光地・施設へのアクセス強化、観光コース設定<観光>
	ヤ	交通空白地でのコミバス新規実証運行や利用実態に応じた予約型(デマンド)運行の導入
		丹海バス間人循環線やコミバス実証運行等に200円均一区間設定
	運賃	割引乗車券、企画乗車券等の充実(新規企画商品販売)
	駅・停留所	実証運行に伴うバス停の新設やバス停の移設等(施設直近、敷地内等への移設)
		駅の利便性向上、植栽、美化活動等

区分	改 善 内 容	
速やかに改善 平成19年度～21年度	車両	バス車両の中・小型化、ノンステップバス導入促進
		車内写真展やシートカバー活用観光案内、ラッピングバス
		コミバス実証運行等に伴う車両購入
	情報提供	地図上路線図、乗換案内、起終点時刻等が一目で分かる表示
		ホーム上乗降位置表示、駅内の案内表示改善、駅舎内でのバス、観光船等の情報提供
		音声案内充実、鉄道駅、バス車内、観光船内、渡船場における相互接続案内
		観光客・ビジネス客にポイントを絞った情報提供
	その他	ホームページの充実、検索システムの構築
		乗務員や駅員の丁寧な対応→研修充実
		利用者マナー向上のための啓発活動
		丹後の魅力発信(修学旅行誘致、地元産品PR、イベント連携等)
		新 NPO、住民等様々なサポーターとの連携展開による支援(KTR)

区分	改 善 内 容	
中期的に対応 平成19年度～23年度	運賃	鉄道・バス共通割引切符の創設、共通定期券販売
		観光地での100円バス運行
		地元高齢者・身障者等に対する割引促進のための補助制度創設
		レンタカーとセットになった周遊券や「青春18きっぷ」の扱い拡大、通学者割引
	駅・停留所	バス停の上屋整備、待合施設整備
		駅スロープの勾配改善、エレベーター、昇降機の設置検討、駅待合室の夜間開放、駐輪場の整備改修
		パーク＆ライドの推進、駅周辺に駐車場を整備、レンタサイクル配備、車両回送システムの構築
		全国的に地域の魅力を発信できる駅名への変更、愛称の命名
	車両	サイクルトレイン、サイクルバスの導入、ボックス席からベンチシートへの変更
	その他	宿泊先から、帰路駅までの荷物移送サービス

区分	改 善 内 容	
将来的な課題 期限は示さないが改善が必要と認識	ダイヤ	午前の早い時間帯に丹後に着く特急の運行
		新 鉄道機能の向上(速達化及びパターンダイヤ化)
	運賃	KTRに100円刻み運賃導入、同一区域内運賃均一化
		福知山経由、西舞鶴経由の運賃差の解消
	駅・停留所	ICカードの導入、乗車券購入時のクレジットカード対応化
		グリーン車の停車位置を改札に近いところになるように編成替え
	車両	駅舎でのエレベーター、エスカレーター設置
		主要駅に集会施設、コンビニ、駐車施設、公共施設等併設
	情報	トロッコ列車や多目的車両の運行
		DMV(デュアル・モード・ビークル)、水陸両用車、高性能気動車等の導入研究
	その他	携帯電話を利用した情報提供、バスロケーションシステム導入など
		駅前駐車場整備、駐車車両回送素システムの構築

◇ 北近畿タンゴ鉄道(KTR)の抱えていた課題

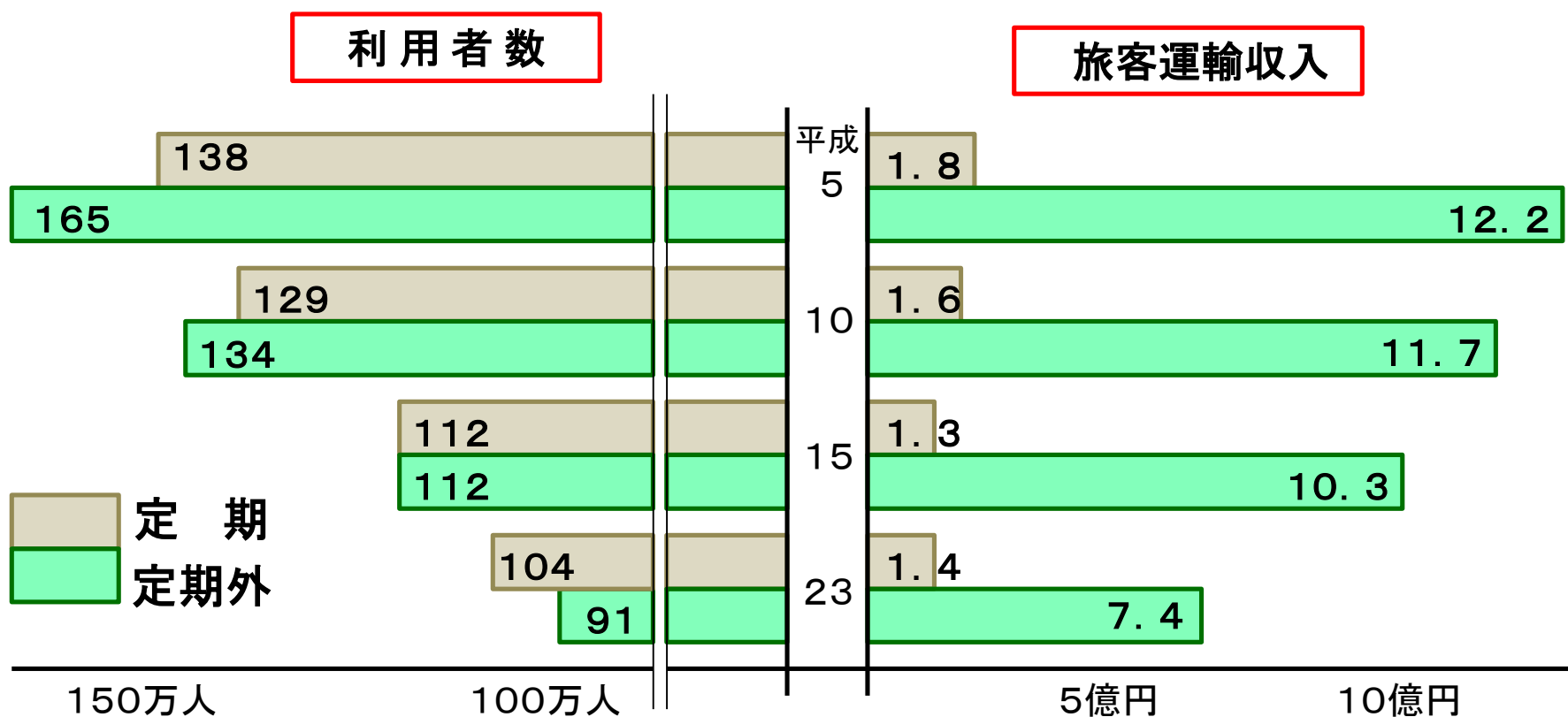
- ・ 利用者の減少傾向に歯止めがかからず、運行本数(特急)を減便する負のスパイラル状態
- ・ 設備が老朽化し大規模な修繕が必要(冷房の不具合、車両の傷み)
- ・ 組織と財務の硬直化
- ・ 観光地の魅力の相対的な低下(海水浴客の減少)
- ・ 今後、高速道路の延伸により自動車利用の利便性が高まり、高速バスが脅威(競争条件の変化)



「乗って守ろう」の限界

このままでは地域から見放されつつある

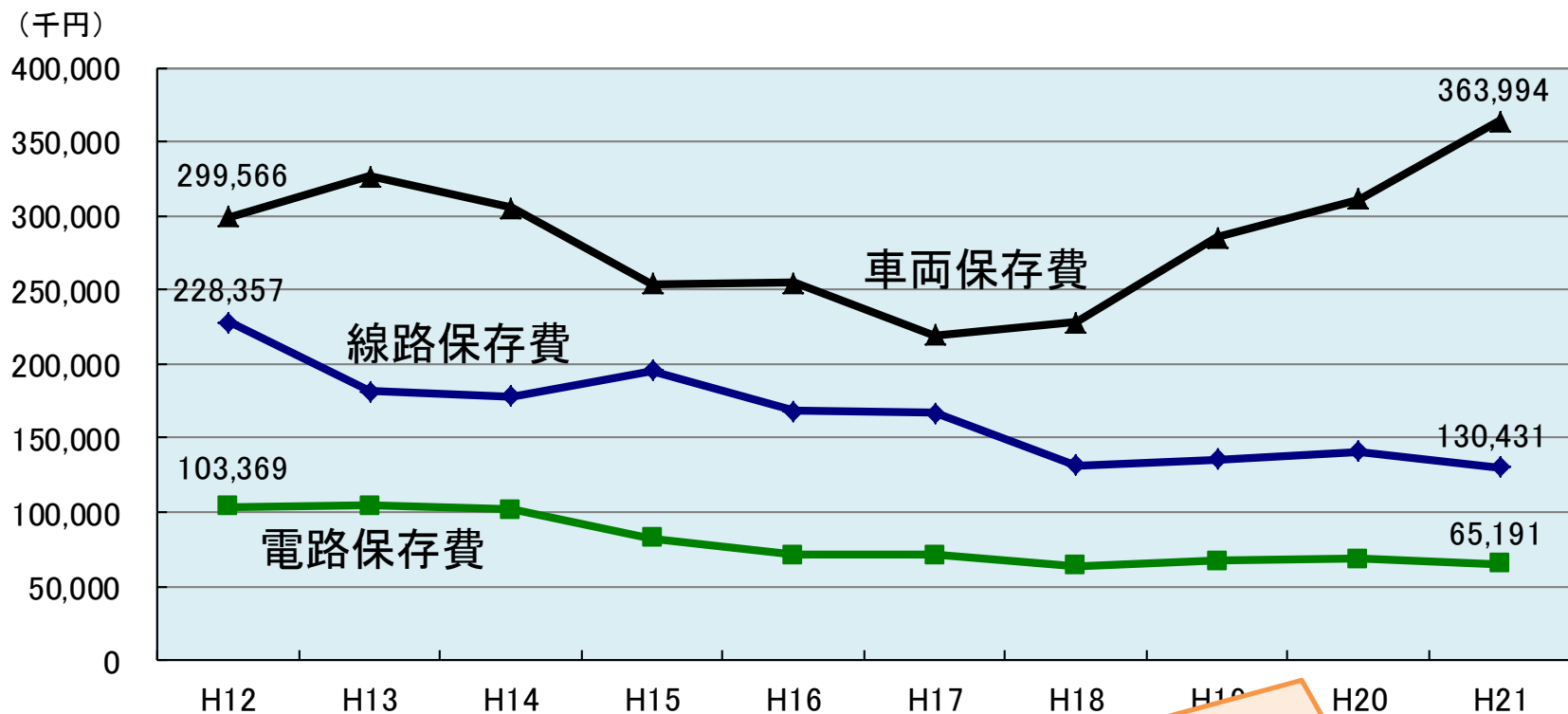
◇定期外利用者に頼る収入構造



「定期外」で稼ぐ構造にもかかわらず、利用者数・収入額とも「定期外」が大きく落ち込み収支が悪化

→ 沿線外からの全く新しい需要開拓が必要

◇修繕費に占める車両保存費の増加



- ・車両に関する修繕費(車両保存費)が急拡大
(S63年製6両、H2年製15両、H4年製3両、H7年製10両)

→ 車両の維持管理費が課題

◇第3セクター方式故の課題

これまでは、民間企業では担えない鉄道事業を担う方式として第3セクター方式が選択され、経営が行われてきた（KTRも同様）



しかし、KTRでは経営感覚の不備、責任の所在が不明確でモラルハザードが発生するなど、課題が顕在化

- 行政依存の財務体質
- スピード感のない統治機構
- 責任の所在があいまいな行政主体の経営陣（行政出身のトップ）
- 政治の影響を受ける事業運営
- 伸びない運輸外収入
- 鉄道OB依存の技術力
- 進まない風土改革



純粋民間資本による自立した経営環境が必要

◇地方鉄道の再生に向けて

有識者検討会「中間とりまとめ」の概要(H24.9)

「愛されるKTRへ」～乗って守る・来てもらって守る～
くめざすべき将来像>

沿線の人々が誇りを持って生き生きと暮らし続け、域外の人達に自慢できる地域に愛される鉄道としてその価値を発揮できるように、安全を確保し、安心して使える設備水準で、しっかりと後世につないでいく。

■経営改善への対策

○経営体制

- ・**経営体制刷新**、企画・営業部門強化
- ・本社と運行本部の統合
- ・経営ビジョンの策定と共有

○収支構造改革

- ・**支援スキームの見直し**
- ・コスト構造改革

○社内改革

- ・社員の意識改革

■安全・安心への対策

○線路・電路施設

- ・**安全・安心に係る設備投資**

○車両関係

- ・冷房装置の更新
- ・車両洗浄装置導入
- ・**デザイン車両導入**

「田舎の列車の方がカッコいい」
と思わせなければ若者は戻ってこない。地元の人が楽しんでいないと観光客は来ない。

あかまつ号



◇既存車両(KTR車)を「あかまつ号」「あおまつ号」に改修(H24年度)





由良川橋梁を渡る丹後あかまつ号



丹後あかまつ号の車内



◇経営体制刷新(上下分離)に対するマーケットサウンディング結果

民の「潜在的ニーズ」

○面的サービスとしての魅力

- ・地域での知名度・ブランド向上
- ・本業のPR効果(駅・電車内の広告等)
- ・多角的に顧客拡大(関連事業への活用)

○公的サービスとしての魅力

- ・ブランド力のアップ
- ・イメージアップ(地域再生に取り組む企業)
- ・公的サービス受託による信頼性・堅実性

官の「覚悟」

○民を呼び込む環境整備

- ・社会インフラとして維持管理費を負担
- ・基盤、車両等の資産リスクの受入
- ・沿線自治体の意思統一
- ・“変革”の許容(民間経営の自由度) 等

○地域の魅力度向上への継続的努力

- ・Final destination としての魅力度向上
- ・地域あげての一体的・総合的取組み
- ・継続の仕組み

地域ローカル鉄道の存続

地域再生の実現

◇民間事業者が参入しやすいスキームの提示

(上下分離による鉄道事業再構築)

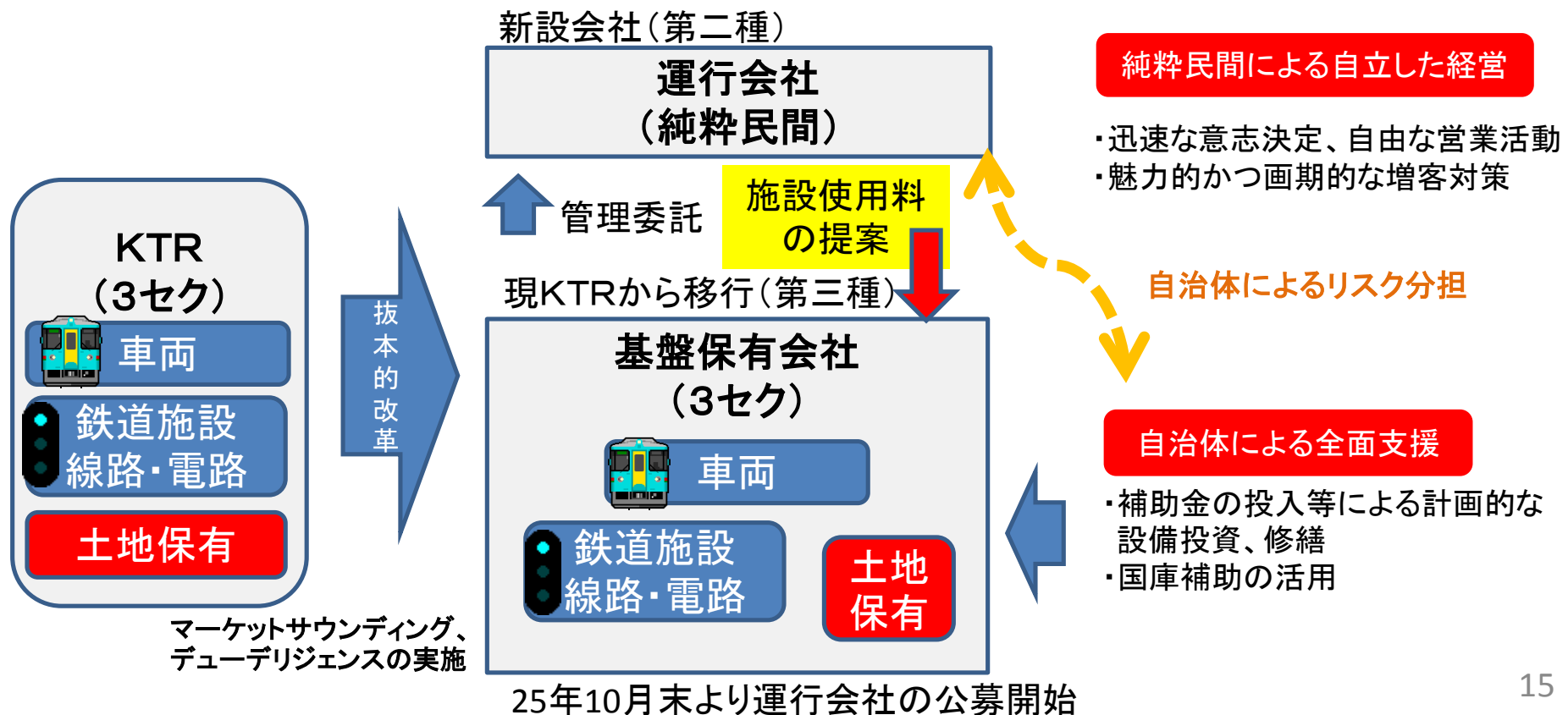
～純粋民間事業者による自由な経営ができる環境整備～

○車両・鉄道施設・土地等の資産を基盤保有会社が保有し、運行会社は運行業務のみを実施

○柔軟な施設使用料の提案(基盤保有会社に対しては自治体が全面支援)

→純粋民間会社による参入を可能に

→自由な経営による新たな需要を生み出す智恵、利用者視点に立ったサービス改善を期待



◇改正地域公共交通活性化・再生法に基づく取組

＜上下分離による鉄道事業再構築に向けた経過＞

年月	内容
平成23年4月	学識経験者、鉄道関係者、自治体首長からなる「北部地域総合公共交通検討会」を設置
平成24年9月	「北部地域総合公共交通検討会」の中間報告（経営改善策として上下分離の検討を位置づけ）
平成25年10月	運行会社の公募開始
平成26年5月	WILLER ALLIANCE(株)を最適提案事業者に選定
平成26年7月	WILLER TRAINS(株)（運行会社）を設立
平成26年11月	改正地域公共交通活性化再生法施行
平成26年12月	沿線9自治体において、地域公共交通網形成計画を国へ送付 北近畿タンゴ鉄道(株)、WILLER TRAINS(株)、沿線9自治体において鉄道事業再構築実施計画を国へ認定申請
平成27年3月	国土交通大臣が鉄道事業再構築実施計画を認定
平成27年4月	京都丹後鉄道運行開始、京都丹後鉄道開業式典

◇ 京都府北部地域連携都市圏

～京都府北部5市2町の連携による
魅力的な生活圏の構築～

取組の方向性

観光

日本三景「天橋立」、伊根の舟屋、夕日ヶ浦等の魅力ある豊富な観光資源を活かし、「海の京都」の統一コンセプトの下、圏域としてブランド力のある着地型観光地として戦略的に整備

平成26年7月に国の「観光圏」に認定（「海の京都」観光圏）



天橋立

伊根の舟屋

夕日ヶ浦

医療

心臓血管外科、脳神経外科など高度な医療が提供可能な医療機関群を活かし、それぞれの医療機関の得意分野を伸ばすことで、大都市に行かずとも、この圏域内で必要な医療が受けられる環境を実現



舞鶴市民病院、舞鶴赤十字病院 府立医科大学附属北部医療センター

教育

○「知(地)の拠点大学」等と連携し、ものづくりやサービス業など地域産業を牽引する人材育成拠点を形成

○中高一貫教育校、水産高校、工業高校など特色ある多様な高校教育が受けられる教育環境を実現



府立福知山高校
(中高一貫教育)

工業集積(雇用)

約8千人の雇用を抱える長田野・綾部・森本工業団地をはじめとした工業集積を活かし、雇用を圏域全体で受け入れ、圏域の雇用を増大



長田野工業団地

綾部工業団地

森本工業団地

公共交通

「京都丹後鉄道」等の広域交通、バス等の2次交通、交通空白地のデマンド交通を結びつけ、圏域内を自由に移動・周遊できる公共交通ネットワークを実現



京都丹後鉄道
KYOTO TANIGAWA RAILWAY

- それぞれの市町の個性や得意分野を公共交通ネットワーク等により結びつけ、(一極集中ではなく)相互に役割を担い、圏域として都市機能・生活水準の向上を図る(中核市にも相当する公共サービスや都市機能を圏域で確保)
- 豊かな自然環境の下、医療・福祉、教育、交通等の充実した質の高い居住環境を創出するとともに、密度の高い生活圏の形成による労働生産性向上を通じた所得の向上を図り、大都市ではできない文化的で若者や子育て世代に魅力ある生活圏をつくる。

イメージ図

圏域全体として地域価値の
発信・向上を図る

観光

「海の京都」観光圏の推進

医療

各機関の特色を活かした
高度な医療の提供

教育

(例)知(地)の拠点大学等との
連携による人材育成

工業集積(雇用)

工業団地等における雇用

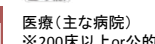
産業

(例)機械金属加工の新技術開発と
新シルク産業創造

地域資源を結び利便性の高い公共交通ネットワーク
・京都丹後鉄道を運行する純粋民間会社ウィーラー社によるIC Tを活用した利便性の高い広域公共交通サービスの提供
・バス等の2次交通網の整備
・交通空白地におけるデマンド交通の整備

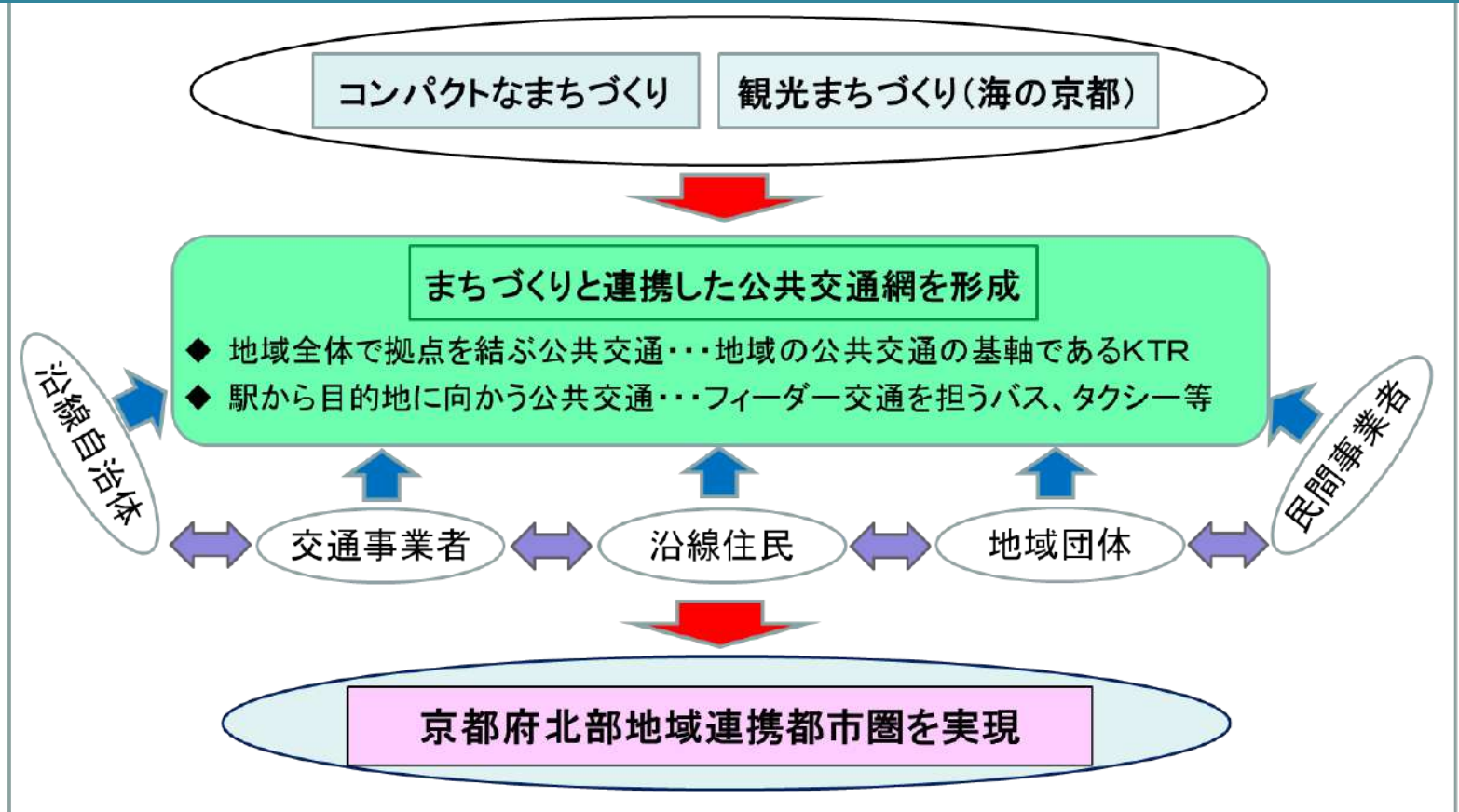
	行政面積 (km ²)	2010年人口 (人)	2040年人口 (人)	合計特殊 出生率
福知山市	552.57	79,652	69,414	1.96
舞鶴市	342.10	88,669	66,522	1.86
綾部市	347.10	35,836	23,662	1.63
宮津市	172.87	19,948	11,780	1.65
京丹後市	501.84	59,038	38,278	1.73
伊根町	62.00	2,410	1,116	1.51
与謝野町	108.38	23,454	15,107	1.71
合 計	2,086.86	309,034	225,879	府1.27

国立社会保障・人口問題研究所
合計特殊出生率(平成22年国勢調査)



J Rの速達性向上
首都圏・関西圏へ良好なアクセス

◇ 地域公共交通網形成計画のイメージと目指すべき将来像(H26.12)



目指すべき『沿線地域の姿』

- 自分たちのまちとして誇りが持て、住み続けたいと思う地域
- 自動車を利用できなくても、公共交通だけで暮らしていける地域
- 魅力的な観光圏として、国内外から多くの人が集まる地域
- 元気な産業・新たな雇用が生まれ、域外の人に移り住みたいと思う地域

目指すべき『公共交通の姿』

- 地域の人々や企業から信頼される、安心・安全な公共交通
- 便利で魅力的で乗りたくなる、みんなに愛される公共交通
- まちづくりの中核を担い、地域が支える公共交通
- 国内外からの来訪者に対応できる、世界に通用する水準の公共交通
- 交通モード相互の連携が図られ、誰もが使いやすい公共交通

2. 観光まちづくり 「海の京都」事業の取組

◇京都府北部地域のストーリー

日本海に面する府北部地域は、古代より、大陸文化・技術の交流の窓口として栄え、多くの神話の舞台となった、いわば「京都（みやこ）のふるさと」

江戸時代には米や海産物などの重要な輸送手段である北前船の寄港地として、明治時代以降には日本海防衛の要として、また引揚げ港として、わが国と大陸との玄関であり続けてきた。



◇「海の京都」事業

悠久の歴史を偲ぶ古代ロマンの地

◆元伊勢籠神社所蔵鏡

前漢時代の邊津鏡
後漢時代の息津鏡



元伊勢籠神社(宮津市)



◆紀年銘鏡

青龍三年(西暦235年)の
年号がある鏡



(弥栄・峰山／大田南5号墳)

◆約5,300年前の 丸木舟出土

わが国最古・最大級



(舞鶴／浦入遺跡)

◆青いガラスの燦き

府北部の「ガラス」における優位性は群を抜いていた。弥生墳墓のうちこれほど華麗な装身具を身につけているのは、北部九州及び丹後の首長のみ。



ガラスの釧(腕輪)
(岩滝／大風呂南1号墓)

◆日本最古級の一大製鉄プラント

わが国最古の砂鉄を原料とした「たたら式」
の製鉄炉跡



(弥栄／遠處遺跡)

◇「海の京都」事業

京都の台所を支える食材の宝庫

府北部地域では、特A米を獲得した京都丹後こしひかりなどの農産物や、トリガイ・イワガキなどの海産物が収穫される。

丹後には、酒質の違うお酒を製造する11もの蔵があり、日本全国を見てもきわめて珍しい。

豊葦原の瑞穂の国

「丹波」の地名起源は、立派な稲穂が穂っている様子を見た豊受大神が「あなにえし、おも植えみし、田庭(たにわ)」とたいそう喜んだことから名付けられたと伝わる。

また、「丹」は赤色を意味し、平城宮跡から出土した木管には、丹後国竹野郡から「赤米」を献上したことが記されている。



トリガイ



「海の京都」ワイン



元伊勢籠神社の古代赤米神撰田(宮津市)



ブリ



岩ガキ

「海の京都」観光圏の認定

◆平成26年7月、**近畿圏では初めて、「海の京都観光圏」が国の認定**を受けた。

◆国からの旅行業法等の特例措置やブランド確立事業への補助等の支援を活用しながら、滞在プログラム造成や観光情報提供、人材育成、アクセス向上等に地域が一体となって取り組むことにより、さらに「海の京都」の取組を加速

○観光圏とは

自然、歴史、文化等において密接な関係のある観光地を一体とした区域であり、その観光地同士が連携して2泊3日以上滞在交流型観光に対応出来るよう、観光地の魅力を高めようとする区域



天橋立、伊根(舟屋)はミシュラン・グリーンガイド・ジャポンの2つ星



海の京都

◇ 沿線自治体の取組 『海の京都』による戦略拠点の整備

➤ 『海の京都』事業による発信力・集客力のある「戦略拠点」の形成を推進



【戦略拠点】

浜詰（夕日ヶ浦温泉）・久美浜



【戦略拠点】

伊根浦地域内
（伊根浦舟屋群）

【戦略拠点】

天橋立



【戦略拠点】

舞鶴赤れんがパーク周辺一帯

【戦略拠点】

昭和モダン・シルクの里
もてなしゾーン
（ちりめん街道）



【戦略拠点】

お城とスイーツ
を巡るまちなか
観光エリア



海路
天橋立～宮津～伊根周
遊ルート

鉄道とバスの連携
による周遊ルート



綾部市



【戦略拠点】

グンゼから大本
に至るまち並み

3. 「海の京都」と交通

◇公共交通による丹後半島を1周する新たな回遊ルートの整備

- 丹後半島を回遊する観光周遊ルート等の整備
- 駅待ち環境・駅施設の改善
- 情報ポータルサイトの整備
- ICTの活用



ぐるたんバス

バスと船のデザインを一体的に整備し、ブランド力をアップ

KAMOME6



丹後あかまつ号



ぐるたんバス	
K T R	
伊根航路	



◇ 具体的な取り組み例 デザイン改修

➤ 地域全体のデザインをトータルにマネジメント

・観光地の修景整備 ・駅舎のリニューアル ・鉄道・バス・船舶・ケーブル・リフトのリニューアル

観光
訪れてよし



海の京都

交通
住んでよし



バスと連動したデザインで統一。バスのブラックカラーに対して白基調の中にバスと同じモチーフ（波）をあしらっている。



夏祭り等、なるべく簡易に統一感を表現し、祭り時の高さをはかる



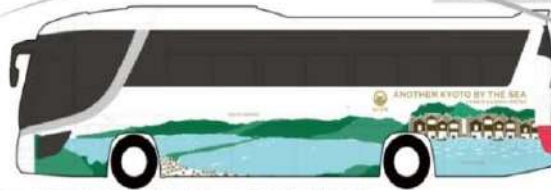
カー



土日は周遊バスとして運行されるが、平日は路線バスとしても使用される。身近に走るバスとして、地元の方にもクリーンで楽しい雰囲気を感じさせる。また観光船との連携も考慮し、全体の統一をはかる。



域外広報



天橋立、伊根の舟屋など、「海の京都」エリアの魅力的風景をイラストで表現。域外の方に「海の京都」の楽しさを感じていただく。



◇ 具体的な取り組み例 天橋立駅前広場及び駅舎の整備



□ 駅前を白砂青松をイメージした庭園風広場
駅舎は『交流拠点としての駅』をコンセプトに、舟屋のモチーフを活かすよう和のデザインに改装。
広場と一体的な景観整備を図ることで、駅自体が観光対象となる交流拠点をめざす
(デザイン: 京都造形芸術大学 前田教授)

整備前の駅前広場及び駅舎

◇ 具体的な取り組み例 外国人観光案内所



天橋立ターミナルセンター

丹後観光情報センター(天橋立駅)、
京丹後市観光情報センター(網野駅)
がJNTO認定外国人観光案内所 カ
テゴリ－2を取得

案内サイン



◇天橋立駅前(宮津養父線)の修景

- 2車線道路を1車線化し、歩道を拡幅
- 沿道店舗も修景整備を実施



◇小天橋(廻旋橋)のリニューアル



小天橋(廻旋橋)・府道天橋立線の修景



◇バス車体デザイン改修(ぐるっと丹後周遊バス)



点在する観光資源をつなぐ、周遊システム～ぐるたんバス

◇新造船(KAMOME6)による伊根航路開設



天橋立と伊根（舟屋）を結ぶ「伊根航路」復活（31年ぶり）～新観光船「KAMOME6」は 1F 屋内外、2F デッキそれぞれ異なる雰囲気海を楽しむ



天橋立を巡る観光船 ～波、カモメをまとった KAMOME (1,3,11, 12 号)、快速艇スーパースーガル I, II (カラー & グラフィック・ニューアルデザイン)

◇ケーブルカー、リフトのデザイン改修



天橋立笠松公園 ～海の京都マーク、松ぼっくり、山と陸をボディーにまとったケーブルカー、リフト（カラー＆グラフィック・ニューアルデザイン）

◇ 丹後くろまつ号



◇酒蔵巡り試飲コーナー(天橋立駅すぐ横)



海の京都エリアに存在する 13 の個性的な酒蔵の魅力を紹介 ～酒蔵巡り試飲コーナー(文殊) 店頭幕、内装、おちょこ、ラウンドマップなどのデザイン



府北部7市町（福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根市、与謝野町）において、地域全体の力を結集し、歴史・文化、海の魅力、まちの魅力、農林水産物等の自然の恵みなどを旅の楽しみとして全国に発信するイベント「海の京都博」さあ、知と遊の冒険へ」を開催します。



海の京都

CONCEPT
海の京都博とは

<http://www.uminokyotohaku.jp/>

- ・開会式典／宮津市
- ・メインイベント／京丹後市 夕日ヶ浦・浜詰特設会場
- ・期間中(7月18日～11月15日)、期間前後の各地域でのイベント／福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、各特設会場など

4. ウィラートレインズ(株)による鉄道事業の運営



“交通革新”と“まちづくり”が連携することで、
地域の価値を向上する。
経営ビジョン

私たちWILLERグループが目指す地域の価値向上。

それは、利便性の高い高次元交通ネットワークの実現(交通革新)により、ストレスのない便利で自由な移動を沿線地域全体に提供すること。そして、豊かな自然や食・文化など地域の観光資源をはじめ、それぞれの市町の良さを活かした広域的なまちづくりを行うこと。これら自治体をはじめ各種事業者と協力の上、「交通革新」と「まちづくり」の連携によるシナジー(相乗効果)を創造することで、沿線で生活している人が望む都市機能・生活水準の向上を実現することにあります。さらに地域の雇用や教育環境づくりにも力を入れ、都心で生活する若い人が移り住みたくなる魅力ある地域への発展につなげてまいります。

https://youtu.be/bDt2_amumEQ





京都丹後鉄道

KYOTO TAMAO RAILWAY

運行開始記念

丹鉄まつり

DAI-TANTETSU
MATSURI

入場
無料

開催日 2015年

5月31日(日)

開催時間 9:00~17:00

もんじゅはまこうえん

開催場所 天橋立(文珠浜公園)



屋台、全国グルメ市



鉄道・高速バス
のりものイベントほか
盛りだくさん



凄い景品が当たる?
大抽選会



男の子向け・女の子向け
キャラクターショーほか
ステージイベント



天橋立をピンク色に染めよう!

丹鉄
マルシェ

ピンクを身に着けて来ると、
フードが“ピンクde割引”
適用でお得に!

500円

「丹鉄マルシェ」と「全国
ご当地グルメ」で500円分
のクーポンとしてご利用い
ただけます。

※おつりは返金されません。
※クーポン部分の紙は回収しません。
※切り取って、駅構内にお渡し下さい。

丹鉄まつり
DAI-TANTETSU MATSURI

2015年5月31日 日曜日

京都丹後鉄道

No.

ご利用日

大人 1,000円
(小児 750円)

当日限り有効

詳しくは裏面をご覧ください。

◇ 京都丹後鉄道(上下分離後)の利用状況(H27上半期実績)

4月1日から9月30日までの利用状況

(京都縦貫道 H27.7.18 開通)

対前年度比 **105.3%**

964,777人
(㊼同時期: 915,804人)

(要 因)

- ・企画乗車券の造成などに注力してきた開業効果
- ・運行開始記念イベント(大丹鉄まつり)に1万人が訪れ、盛況であった
- ・3月のダイヤ改正で早朝の京都発の特急との接続が実現
- ・ゴールデンウィーク、シルバーウィークの曜日配列がよく、天候にも恵まれた

シルバーウィーク(9月18日～9月23日)の利用状況

対前年度比 **132.7%**

36,701人
(㊼同時期: 27,651人)

(要 因)

- ・曜日配列がよかったことに加え、天候にも恵まれた

◇ 京都丹後鉄道のこれからの取組

1. 春のダイヤ改正 3月26日(土)から

天橋立と城崎温泉の連携強化、使いやすさの向上など

- ・「丹後あかまつ号」のダイヤを改正し、城崎からの観光客の天橋立での滞在時間を確保
- ・デイトムに宮舞線、宮豊線は1時間に1本運行を実現(運行間隔の平準化)
- ・宮福線の一部列車を快速列車にし、運行時間を最大26分短縮

2. 丹後くろまつ号の運用を一新 4月1日(金)から

「FOOD EXPERIENCE」

丹鉄沿線が一体となり、地域の食・魅力を体験を通じて発信

- ・「車内で楽しむ」から「車外でも楽しむ」をコンセプトに
駅ホームでの郷土料理体験、
地元産品の販売、地域住民
との交流を体験・体感
BETSUBARA(べつばら),
MANPUKU(まんぷく),
YOKUBARI(よくばり)の3コース



3. 「丹後くろまつ号」平成28年4月からのサービス概要

現 行	コース名	ルート	内容	料金
	スイーツコース	福知山→天橋立 (10:25→11:37)	・4種のスイーツ ・飲み物	4,000円
	ランチコース	天橋立→西舞鶴 (12:07→14:27)	・文珠荘の絶品ランチ	10,000円
	ディナーコース	西舞鶴→豊岡 (15:36→18:15)	・会席弁当 ・ワンドリンク	11,000円

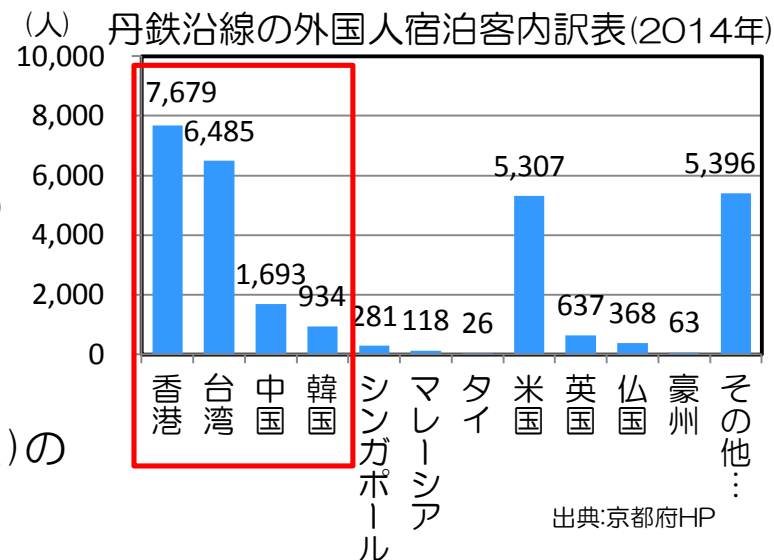
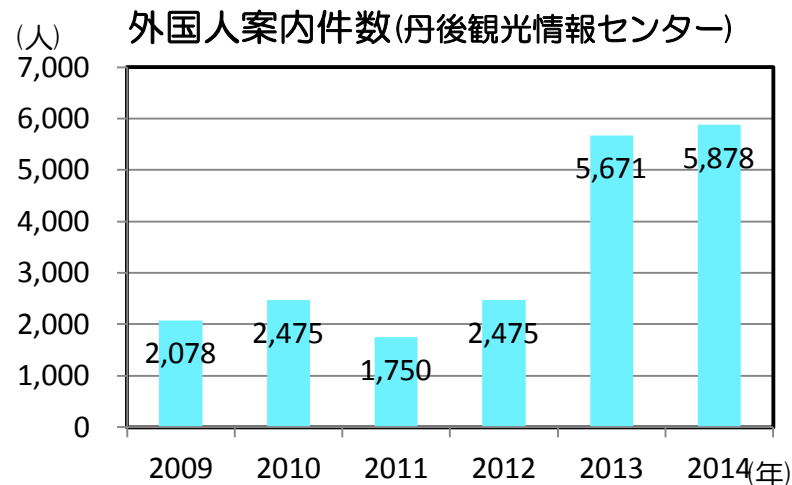
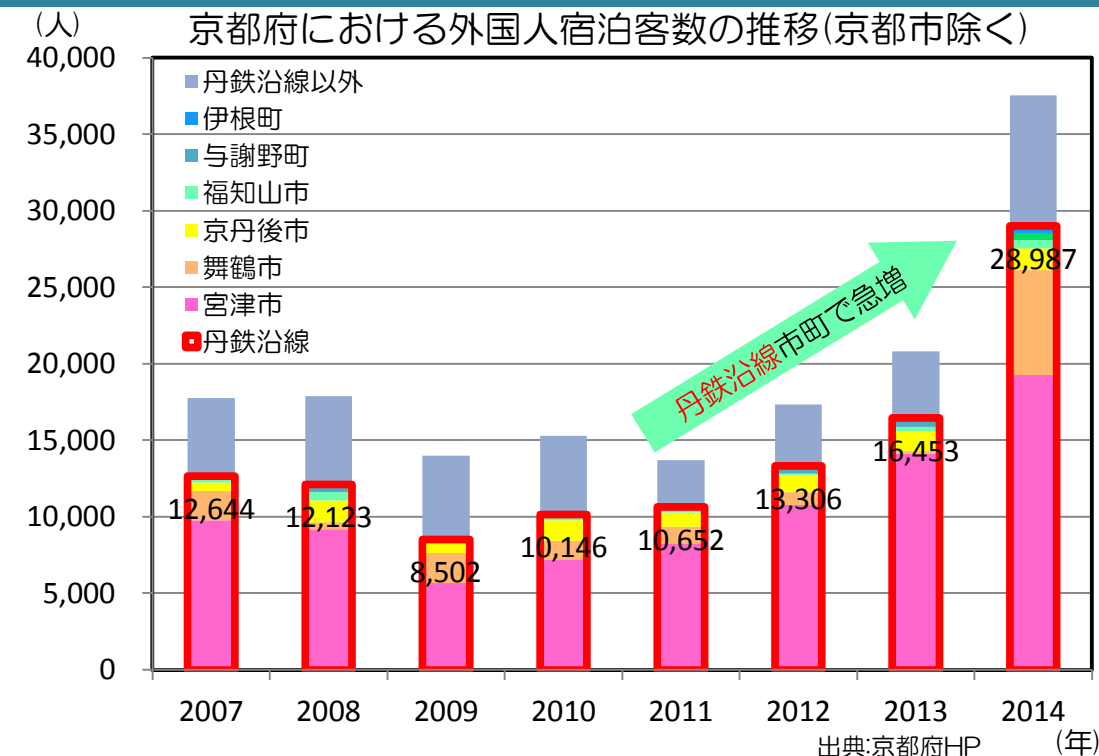


4 月 6 月	コース名	ルート	内容	料金
	BETSUBARA (べつばら)	豊岡→天橋立 (10:08→12:20) ※13:20解散	・おぼろ豆腐等食べ比べ ・漁師汁(久美浜駅内) ・ばら寿司 ・地魚の七輪焼き(天橋立駅内)	8,800円
	MANPUKU (まんぷく)	天橋立→豊岡 (12:54→14:56) ※11:50集合	・地魚の七輪焼き(天橋立駅内) ・ばら寿司、茶碗蒸し ・漁師汁 ・米粉スイーツ	8,800円
	YOKUBARI(よくばり) ----- 選択 TASHINAMI(たしなみ)	豊岡→天橋立 (16:05→18:21)	・おぼろ豆腐等食べ比べ ・漁師汁 ・丹後郷土料理9種盛り ・【YOKUBARI】ばら寿司、 智恵の餅食べ比べ ・【TASHINAMI】丹後の地酒2種	7,800円

※3ヵ月毎に運行ルートを変更予定。(7～9月(西舞鶴⇄天橋立)、10～12月(福知山⇄天橋立))

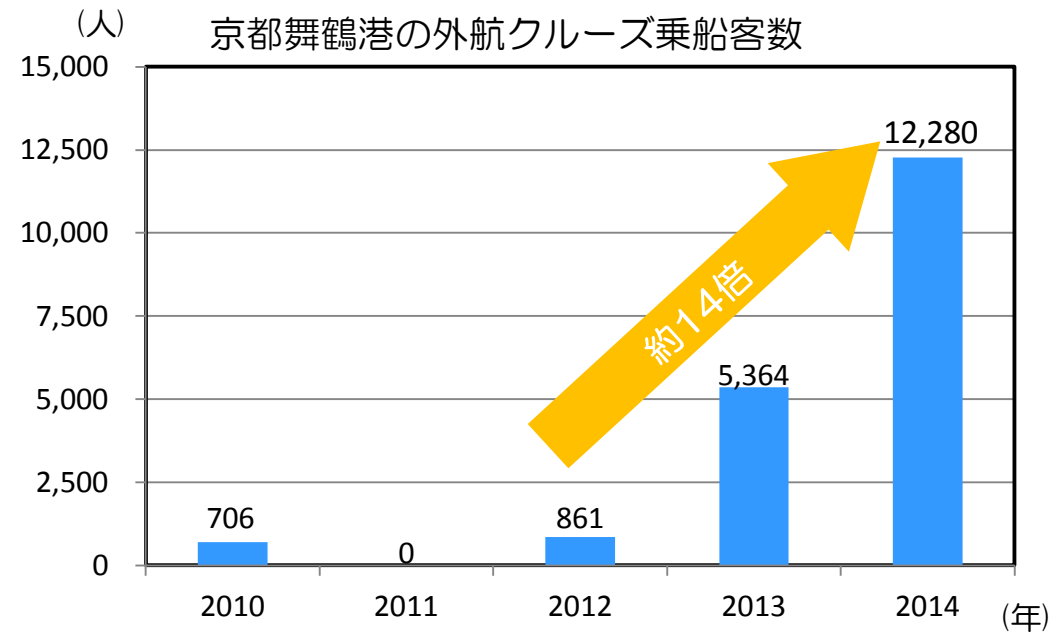
5. インバウンドへの対応

◇京都府における外国人旅行客の状況



- 京都府における外国人宿泊数(京都市除く)は5年前に比べ約2.5倍、この内、**丹鉄沿線市町は約3倍に急増**
- 2014年、丹鉄沿線市町では、**府全体**(京都市除く)の**約8割弱**を占め、中でも宮津市は5割超
- 国別では、**香港、台湾、中国が多い**

◇ 京都舞鶴港への外航クルーズ寄港状況



出典:京都府資料

- 京都舞鶴港の外航クルーズの乗船客数は、
2014年に約12,000人で**2012年比約14倍と急増**

◇ 外国人旅行客への対応(クルーズ客船寄港時)

◎観光案内特設ブース設置

舞鶴市西駅交流センター（西舞鶴駅）に特設ブースを設置し、外国語での交通案内や観光案内を実施

【海の京都観光推進協議会、舞鶴国際交流協会】



◎高校生による英語案内ボランティア

西舞鶴駅前や大型ショッピングセンターで高校生による英語案内ボランティアを実施
【東舞鶴高等学校】



◎まち歩きツアーの実施

まち歩きを楽しみながら、お寺での座禅体験やかまぼこ作り体験など日本らしい体験ができるまち歩きツアーを実施



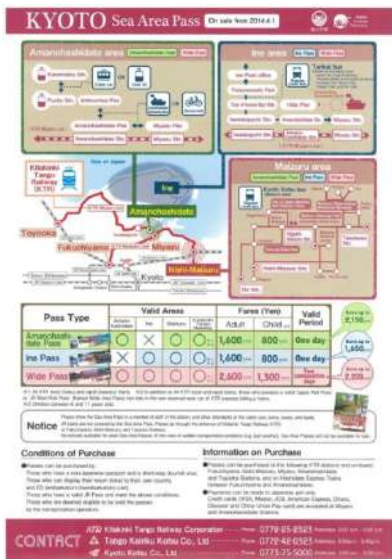
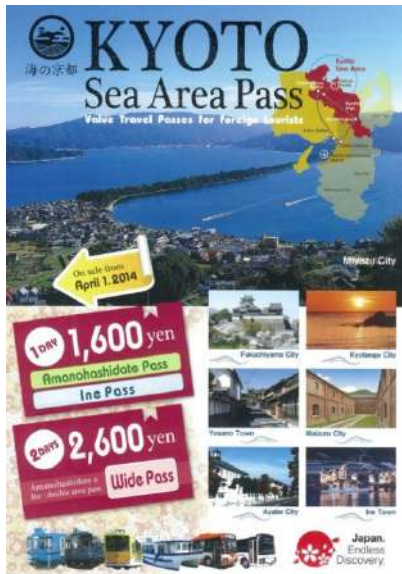
◎まち歩きマップの作成・広報板等の設置

- ・まち歩き観光を促進するため、ふ頭からのまち歩きマップ（日英韓仏の4ヶ国語）を作成
- ・寄港を歓迎し、寄港情報を市民に周知するため、広報板やのぼりを各所に設置



◇外国人旅行者への対応(京都丹後鉄道関係)

◎外国人旅行者向け「海の京都エリアパス」の販売 (平成26年4月～)



京都丹後鉄道と自由周遊区間内のバス・観光船が乗り放題
※JAPAN RAIL PASS, WEST RAIL PASS所有者は特急自由席も利用可

年 度	利用者数
平成26年度 (通年:4月～3月)	3, 692人
平成27年度 (上半期:4月～9月)	3, 080人

◎外国人旅行者向け「1日乗り放題切符」の販売 (平成27年4月～)



京都丹後鉄道(特急自由席含む)が乗り放題
※JAPAN RAIL PASS, WEST RAIL PASS所有者は料金半額

年 度	利用者数
平成27年度 (上半期:4月～9月)	1, 223人

外国人向けフリーチケット合計
26年上期(1614枚)→27年上期(4303枚)

約2.7倍に増加

◇ 外国人旅行者への対応(京都丹後鉄道関係)

◎英語の車内放送や駅の番号表示の実施



◎Wi-Fi環境の整備の状況

＜利用可能駅＞

- ・天橋立駅
- ・宮津駅
- ・与謝野駅
- ・網野駅

◎外国語案内担当職員の配置
(天橋立駅観光案内所、京丹後市観光情報センター(網野駅内))



天橋立観光案内所(天橋立観光協会)

◎免税ステーションの実施
(「道の駅」舞鶴港とれとれセンター(免税カウンターを設置))



◇ 沿線自治体のこれからの取組

1. 「海の京都」連携広域DMOの設立

- ・市町が連携し、地域の総力を結集して、観光まちづくりを効果的かつ強力に推進するため、DMOを28年度中に設立
- ・丹後王国「食のみやこ」を観光拠点化
- ・山陰海岸世界ジオパークの整備

2. 駅再生アクションプランによる駅のにぎわい創出

- ・駅及び駅周辺に賑わいを取り戻すため、駅を地域の活動拠点、交通結節点として地域と共に再整備
久美浜駅(京丹後市)、丹後由良駅(宮津市)で着手

3. 特急車両のデザイン化の推進

- ・京都駅と丹後地域を直通する特急車両を「海の京都」のイメージでリニューアル
平成27年度2編成に加え、平成28年度は2編成を改修





